

かいりん

第65号

2014年10月1日発行

発行者 林 明夫

足利市堀込町 145

Tel 0284-72-5945

NIE (Newspaper In Education) 新聞を読んで考えよう！

1. 「読む」じゃなくて「見る」からはじめてみませんか？

「新聞は文字が多くて読みにくい！」「なんだか難しそう…。」「テレビ欄は見ているのだけど…」そう思っているみなさん、まずは新聞の中から、ちょっとおもしろそうな写真や絵を探してみることで新聞に親しんでみませんか？

2. 「好きなこと・興味のあること」を探してみよう！

たとえば、政治や経済の内容はちょっと難しそうでも、スポーツや趣味のことなら、知りたいことが見つかりそうですね。最初からじっくり読む必要はありません。「おもしろそうだな」と思ったところから読んでみましょう。

3. 新聞で君の力が育つ！

新聞を読むことで、次のような力を育てることができます。

- (1) 物事を自分の力で考えられるようになります。
- (2) 見出しを読むことにより、課題認識が深まります。
- (3) 文章理解力などの国語力・集中力が向上し、成績が徐々に上がっていきます。また、自分の考えを整理してコミュニケーションができるようになります。
- (4) 自己学習能力が育まれます。
- (5) 新聞を音読することにより、脳が活性化されます。



開倫塾 NIE 講演会のようす（2013年）

4. 新聞を活用しよう！マイ・ノートブックの作り方

新聞は、いろんな活用の仕方があります。この機会に、日記感覚でぜひ「新聞を読んで考えよう」マイ・ノートブックを作って活用しましょう！

例1 「ひと」の生き方・考え方から学ぼう！

- (1) 「ひと」を紹介している記事や、インタビュー記事などの中から、気に入ったものを切り抜く。
- (2) ①印象に残った言葉や文章
②すばらしいと思った所
③この記事から感じたことや学んだこと
について、マイ・ノートブックに書く。

記事
①印象に残った言葉
②すばらしいと思った所
③この記事から感じたこと

例2 お気に入りの新聞写真を紹介しよう！

- (1) 新聞を見て、気に入った写真や絵を切り抜く。
- (2) ①どんな場面なのか。
(いつ・どこで・なにを・どういった場面か)
②選んだ理由。
③この記事から感じたことや考えたこと。
について、マイ・ノートブックに書く。

写真
①どんな場面か
②選んだ理由
③この写真記事から考えたこと

高い倫理の育成を目指して—15の躰プログラム— 11月「辞書で調べる習慣をつけよう」

1. 辞書をいつも手元に置いておこう！

子どもたちが将来、高校や大学に進学したり、大人になって社会で活動する時に、分からないことを自分で調べ、知識を増やしていくことが、自分の力を発揮するために今以上に必要とされます。

読めなかったり意味が分からない言葉に出会ったらすぐに調べること、自習室を利用する時にも、辞書を必ず持参することが重要です。毎日30分でもコツコツと丁寧に学習を積み上げていった成果は、必ず現れ、成績向上、偏差値大幅向上につながります。どんどん辞書を引くことで、単語力、自己学習能力が身につきます。

2. 辞書の活用方法

よく読めない言葉、意味の分からない言葉があったら、全て辞書を用いて調べる。辞書を引いて調べた内容は、必ずメモしておく。

- ・シャープペンや鉛筆を使用して、小さい字で教科書に直接書き込む。
- ・ノートに書き写す。
- ・辞書の調べたページのコピストットを貼っておく。

メモした内容を何回も音読し、書き取り練習をして身につければ、知識は自分のものになります。

